



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

2006年3月 March No. 286
 Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2005~2006)

センテニアルクラブ会長：『発想の転換と共に行動の転換を！』
 国際会長：『求めるワイズから 行動するワイズへ』
 アジア会長：『行動するリーダーになろう』
 西日本区理事：『すすめ、愛と勇気をもって』
 中西部長：『認め合い、共に歩もう、ワイズたび』

クラブ役員 Officers

会長：石津 雅人
 副会長：永島 寧
 書記：山田 孝彦
 会計：三浦 直之
 幹事会長：谷川 有美子
 Y連絡員：織田 千文

【 Biblical Message of March 】

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんな
 ことにも感謝しなさい。
 (テサロニケの信徒への手紙 5章16~19節)

【 March Club Meeting 】

『テーマ：EF/JWF (信託基金/ワイズ基金) 』

3月 第1例会

日時：2006年3月15日(水) 18:30~20:30
 場所：リーガランドホテル 5階

司会 福永 武彦 君

1. 開会点鐘 石津 雅人 会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 石津 雅人 会長
4. 聖句朗読 福永 滋子メネット
5. 今月のテーマ 中村 茂高 君
6. スピーチ 「ちがいを豊かさに」
 栗 藤一氏 (大阪YMCA表現・コミ学科非常勤講師)
7. インフォメーション 各担当
8. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
9. 閉会点鐘 石津 雅人 会長

CS寄金まだの方へ：お年玉つき年賀/ガキの当選切手
 (14シート)、または 金銀換算で @1,800円を
 中村茂高CS委員長までお届けください。貴重なCSの
 資金源になります。

3月 第2例会

日時：2006年3月22日(木) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館4階

- *3月例会当番 2班 (福永、畠中、新保、坂本)
- *3月お誕生日 谷川メネット17日、松浦メン22日
 中村珠美メネット25日、

余暇時代を生き抜くために

畠中 彬

余暇はかつての「余った暇」な時間から「ゆとりの時間」、
 そして今は「何者にも束縛されない自由な時間」というよ
 うに、時代の流れと共にそのイメージも変化してきた。そ
 してその余暇時間が年々増加しているのも事実である。

そこまでは一般常識として誰もが知っているが、それでは人間の一生の間
 に一体何時間の「自由になる時間」があるか?、といわれるとウームと考
 える。その前に人間の一生は何時間になるのか問題である。人生80年と
 すると約70万時間となる。そのうち睡眠や食事、入浴等生理的
 必要時間は、紙面の都合で細かい積算根拠は省くが約30
 万時間である。労働時間は、1日8時間で年間250日、
 40年間働いて約8万時間となり、それに通勤時間と残業
 時間を加えて約10万時間となる。学校も自由にならない
 時間とすると1日7時間で年間250日、大学まで16年
 間として約3万時間である。生涯70万時間からそれらを
 引くと27万時間が残り、それが自由な時間ということに
 なる。

ここまでくるとひとつの大きな問題に気づく。私たちが
 16年間の学校で学習しているのは、10万時間の労働に
 備える内容がほとんどで、その約3倍の「自由な時間」に
 備える学習は実に乏しい。(第2面につづく)

【 クラブ統計 Statistics 】

2006年2月		種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	16名	メン	11名	6名	2月:切手 330 gr.	2月:13,900円
		メネット	6名	名	現金 ¥1,000 円	(05年7月~06年2月の)
例会出席	11名	ピジター	名	名	(05年7月~05年2月の)	累計:113,789円
うちメークアップ	名	ゲスト	名	名	累計:切手 1,760 gr.	[除く、クリスマス献金、
出席率	68.8%	合計	17名	6名	現金 4,000 円	オークション、記念献金]

今月の聖句に寄せて

キリスト教では3月1日(水)からレント(受難節)に入りました。主イエス・キリストの十字架への苦しみの日々を偲びつつ、自らの罪の悔い改めの祈りの時として、歩みたいと願っております。私にはみ言の解説はできませんが、今月の聖句は、私の日曜学校時代から好きな聖句の一つです。でも、やさしいようで、なかなか守れないみ言です……

最近、痛ましい事件が続発し、倫理、道徳はどうなっているのかと悲しくなります。子どもの頃からの教育の大切さを感じます。そのなかで、YMCAが青少年の育成に努力していることは大きな希望です。勉強だけでなく、心豊かに感謝を忘れず、広い視野を持った青少年を育てていただきたいと願ひ、祈っております。

(聖句選、コメント： 福永 滋子)

2月第1例会

【 Report of the February Club Meeting 】

(06年2月15日(水) 18:30~20:30)

リーガグランドホテル・5階 桂の間)

松浦 孝次

○クラブメンバー17人が出席して、田中穰二メンの司会で開会。谷川有美子メネットによる聖句朗読。谷川メネットは、原爆投下から60年目の昨年10月に広島でもたれた集会に参加して、94歳の日野原重明さんが「世界へ送る平和のメッセージ」を発信した模様を、資料とともに皆さんに紹介しました。

つづいて今月のテーマ【TOF/CS】について、中村茂高メンが、世界の飢餓人口は6億人、我々が食事を抜いて支援資金の源資にする趣旨を説明しました。

○牟 大盛さん(大阪クラブ)の案内でお招きした、李元植さん(イウォンシク/文学博士・元近畿大学教授)のスピーチは、「朝鮮通信使について」。李博士は、1924年韓国ソウル市生まれ、1972年来日。とくに江戸時代の日韓交流の柱、朝鮮通信使について造詣が深い方。鎖国日本が12回も500人/回 近い通信使節団を迎えていたことに驚きです。当時 両国の交流に尽力した朝鮮の松雲大師について、ビデオを使って紹介されました。また各地で残る耳塚(文禄・慶長の役の悲しい遺産)についてもコメントされ、日韓の歴史の一端を学びました。

○鍛治田千文さんから、YMCAクリスマス献金が240万円の目標を達成したことの報告と感謝がありました。なお、CS資金のために、当選年賀切手(もしくは@1,800円)をメンバー各自が拠出しました。

[当選年賀切手(もしくは@1,800円) まだの方は、中村茂高メンに 3月例会に必ずお渡しください]

(右は2月例会 ゲストスピーカーの李元植氏)

(第1面 「余暇時代を生き抜くために」のつづき)

ここまでくるとひとつの大きな問題に気づく。私たちが16年間の学校で学習しているのは、10万時間の労働に備える内容がほとんどで、その約3倍の「自由な時間」に備える学習は実に乏しい。

これからの余暇時代を有効に楽しく生き抜くためのポイントがここにある。このような余暇やレジャーの講義を大学で担当するようになってから、授業の準備に追われて私の余暇もレジャーもどこかへすっ飛んでしまった。

YMCA ニュース

大阪YMCA国際専門学校 鍛治田 千文

■表現・コミュニケーション学科ボランティア説明会

日時：3月7日(火) 14:00-15:00

中学時代不登校や不登校気味の生徒や、人との関係を苦手とする生徒、軽度発達障害の生徒たちが在籍する表現・コミュニケーション学科。その高校生たちのクラスボランティア説明会。

■早天祈祷会

日時：3月17日(金) 7:30-8:30

証し：石津雅人氏(センテニアルワイズ会長)

■指導者感謝会

日程：3月21日(火・祝)

土佐堀YMCAで牽仕してくれた卒業指導者への感謝会です。礼拝と交流の形をとります。ワイズの方もご参加いただき、指導者にお声をかけてください。

ありがとうございました!

今年度のクリスマス献金の土佐堀YMCA目標額は240万。2月中旬で目標額を越えました。これで来年も地域奉仕をはじめ多くの活動ができます。ありがとうございました!!



2月第2例会

【 Report of the February Club Meeting 】

(2月22日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

出席:石津、鍛冶田、坂本、藤原、三浦、山田君 6名

1. 3月以降の例会プログラム

4月は、大澤千恵美さんのミャンマー・スタデーツアー報告。5月は、デファレンスステイとして20日(土)に例会を開催し、重信直人氏(大阪YMCAスタッフ)による「高齢者生活について」。6月は、1年を振り返りかえってのメンバー全員参画型の会とし、畠中、中村茂君担当。7月は、新年度で会長交代式。8月は、京都路のクラブとの締結合同例会。

2. その他

(1) DBCの交流会は、夏に東京YMCA妙高高原ロッジなどを候補に、東京セントラルクラブさんと相談して決める。

(2) 春の健康ハイクは、4月桜の季節に予定。畠中君に計画を依頼する。

メネットファンドのために
YMCA留学生スピーチコンテストで

中村 幸枝メネット

メネットファンドのために、今人気のプリザーブドフラワーを作りました。拙宅の小さなリビングは花・器・ラッピングフィルム・リボンなどで、足の踏み場もなくなりました。その中でメネットさんの作業ですから、さぞNOISYだと思われるでしょうが……。

黙中というのでしょうか、心をこめていたというのでしょうか? 不思議なほど静かでした。完成した25個を満足そうに見つめるメネットの笑顔こそ華だ、と私は感じました。

2月19日の大阪YMCA留学生スピーチコンテスト会場で販売しましたが、完売し、33800円の売り上げでした。

センチアルメネットさんたちが、心一ついっつも楽しく活動していることに感謝ながら、ご報告申し上げます。

当日の出席者は、私のほか、谷川、坂本、隅田、松浦メネットです。石津さん、藤原さんもお見えでした。



(会場でプリザーブドフラワーを販売するメネットさんたち、このほかに隅田メネットも参加しました)

2月BFニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in February 】

山田 孝彦 (書記)

- ◇切手提供者:畠中、山田、福永(含上月さん)、谷川、藤原、隅田、田中、三浦君 計 330gr
- ◇現金提供者:山田君 計 1,000円
- 今月の殊勲賞:畠中君 100gr

≡ Club Activities (February 2006) ≡

On February 15th, the club's February meeting was held at the Rihga Grand Hotel with a total of 19 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance.

At the time of reading biblical message of the month, Y's menette YUMIKO TANIKAWA told her experience at the gathering called "Message to the Peace of the World" which was held in Hiroshima last October. Mr. SEIJI OZAWA, well known conductor and Dr. SHIGEAKI HINO-HARA, winner of the Cultural Medal and active doctor of 94 years old, gave their peace messages to the world.

The highlight of the February meeting was the speech made by Dr. LEE WON SHIK, former professor at Kinki University. He spoke about the history of the "Korean Special Envoy" to the Tokugawa Shogunate in the years of 1607 to 1811. These envoys left their brilliant marks in the interchange of Japanese and Korean cultures in the period of the national isolation in Japan. We could learnt a lot from the suggestive remarks made by Dr. LEE.

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長:藤原 正巳

"Aloha from Hawaii": ハワイヌアヌクラブ、プリテンから

○ 1月新年祝会を賑やかに開催

1月28日(土)にメンバー、ゲスト30人が出席し、日本レストラン HANAKI でビュッフェ形式の祝会を開催しました。ゲームなどもあり、大いに盛り上がったようです。

○ クラブファンド作りで新機軸

ファンド作りの一環として2月には不要なペーパーバックスを持参してYMCAで販売していますが、今年はこの他にタロイモの入った甘いシナモンパンを1斤5ドルで販売するそうです。

"Bauhinia News" 香港 Bauhinia クラブニュースから

○ 独居老人のためにパーティー開催

2月6日に西淀川区女性福祉クラブと共同で150人の独居老人を招待し、旧正月を祝う集いを開催しました。

○ Time of Fast 行事

Time of Fast のため、3,600香港ドル(約5.3万円)がTOF 献金として集められました。

THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



Messages from the Club Members

ゲストからのメッセージ

○昨年の中西部会での、皆さまのご協力に感謝いたします。このたび、私の先輩である李元植先生をご紹介させていただき、日韓平和の為に「朝鮮通信使」の歴史をお伝えできて光栄です。センテニアルクラブの今後のご発展をお祈り致します。

(中西部書記 牟大盛)

“ごぶさた”メッセージ

○監査の日ですので、出席できません。皆さまよろしくお伝えください。(新保 正秋)

○フリテンにて1月例会のにぎやかな様子を楽しませていただきました。今月も7日から17日まで横浜に行かなければなりませんので欠席させていただきます。来月は必ず出させていただきます。(永島 寧)

会員からのメッセージ

○良きに付け悪しきにつけ 史実を知ることは必要なことだと思います。その上で隣国と平和なお付き合いをしたいものです。楽しい雰囲気のお会合に感謝です!!

(石津 雅人)

○クリスマス献金が目標額(240万円)を越えました!! 土佐堀Yが元気になってきた証でしょうか、ありがとうございます。これで次年度もプログラムを続行できます。

(戦谷田千文)

○韓国に大変関心をよせるようになった最近の私にとって、本日の聴聞はうれしい機会でした。

(坂本 千香)

○韓国の歴史を知る機会に感謝します。また、平和の大切さを知り、今年の夏、国際大会(韓国)にて交流することを楽しみにしています。

(坂本 哲朗)

○先月、金沢で次男が結婚いたしました。天気もよく楽しい式でした。感謝申し上げます。

(隅田 恵子)

○よき例会でありえたことを感謝します。

(田中 穰二)

○近くて遠い国といわれてきた隣国韓国、映画などを通して親しみ、ごく親しい国となっている昨今、私もYsを通じて親しみを感している。ゲストスピーカのイウォンシク(李元植)先生を通じて、「蜜行の跡」など厳しい史実も知った上で、今後も長い歴史を共有した隣国として交わりたい。

(谷川 有美子)

○先日はメネットさん集合して、バザーのための手芸品を作りました。心をひとつにしての楽しいひとときでした。

(中村 幸枝)

○日韓関係が悪化の方向にあるなか、日朝の歴史、文化をたどることは必要と思われる。李元植さんの話は、私たちに興味深い問題を提起していただきました。

(中村 茂高)

○今年も 上月英子様より沢山の切手をお贈り頂きました。いつまでも覚えていただき 御懇謝に感謝いたします。李教授より初めての講話に聴き入り印象的でした。

(福永 嘉彦)

○谷川メネットの平和のメッセージについてのお話、また李元植先生の朝鮮の歴史についてのお話、とても感銘を受けました。

(福永 滋子)

○朝鮮通信使のお話し、詳細に承り、よく勉強させて頂きました。歴史研究は過去の解剖作業だといいますが、被害を受けた立場からは何百年たっても「生体解剖」だ、という感を強くしました。日韓の間とは、韓国の歌人 孫戸妍さんの歌のように「争いのなき国と国なれ」の時代が早く来ることを願っております。

(藤原 正巳)

○豊国神社と耳塚は、私もかつておとすれ、そこで話を聞いたことがあります。今日のお話を聴き、改めて心が痛みます。

(松浦 和子)

○最も近いのに、不幸な日韓の歴史に思いをいたしました。しかし、鎖国の江戸時代に12回も500人規模の通信使が日韓を往来していたことを知り、大変勉強になりました。

(松浦 孝次)

○日本と韓国の間、豊臣時代から江戸時代にわたって驚くべき秘めた歴史があったことを伺って、認識を新たにしました。

(三浦 直之)

○昨年に続き今年もワイスの大会で訪れる隣国のことを、あまりにも知らないことを思い知らされました。今度行くまでにちょっと学びね・・・と。

(山田 孝彦)

ワイス中西部 “チャリティーウォーク”

陽光も明るく春めいた2月18日(土)の午前、大阪成公園同回コース(1周5km)のウォークを楽しみました。

健康維持、親睦・交流、そして「大阪YMCA青少年育成基金」への支援と、3拍子そろったプログラムです。1kmあたり100円を寄付金、ほとんどの人たちは2周(10km)しました。大阪城の梅林も、かくわしく咲きはじめていて、気分は最高!

中西部から約40人が集まり、わがクラブからは、中村幸枝メネット、石津、中村茂高、畠中、藤原、三浦、山田、松浦メンの8人が参加しました。



(チャリティーウォークで、サア一歩くぞ……)

《編集後記》

大阪YMCA(土佐堀)のクリスマス献金、おかげで目標を達成しました。みなさまのご協力に心から感謝します。献金はYMCAの国際、国内支援の諸事業に用いられます。

2月号の写真が、第2面と第4面と入れ代っていましたことをお詫びします。

(松浦 孝次)